

水産業競争力強化緊急施設整備事業事後評価報告書

岡山県農林水産部水産課

目的	漁業コストの削減・漁獲物の品質向上による、漁業者の所得向上				
目標	漁業者の所得向上	整理番号	1		
事業実施主体	牛窓町漁業協同組合				
実施地区	牛窓地区				
実施期間及び目標年度	実施期間	目標年度			
	令和4年度～令和5年度	令和6年度			
助成金額	27,000,000円				
事業計画の内容	製氷施設の整備				
評価	取組の目標（KPI）	1人あたり漁業所得の向上			
	基準年	(令和3年度時点) 5,203,612円			
	現状値	(令和6年度末時点)-826,229円	増加率 -793%		
	目標値	(令和6年度末) 5,723,973円	増加率 10%		
	成果目標	氷販売単価の引き下げ			
	現状値	(令和6年度末時点) ・船びき網漁業者 1,210円/200kg ・船びき網漁業者以外 2,420円/200kg			
	目標値	(令和6年度末) ・船びき網漁業者 1,210円/200kg ・船びき網漁業者以外 2,420円/200kg			
	(1) 現状値の説明	KPIは浜の活力再生プランの所得向上目標に基づき10%向上を目標としたが、船びき網漁業の漁獲対象魚種であるシラスは、黒潮などの海流により漁場に供給されることから年変動が大きく、目標年度は記録的な不漁により-793%となった。 成果目標は維持管理費の縮減などにより、氷販売単価を目標値まで引き下げることができた。			
	(2) 地域への経済効果	既存施設は老朽化が進み、度々の故障により多額の修繕費の発生や、故障時に民間業者から氷を購入するなど、漁業者への氷供給に多額のコストがかかっていた。これらのことから氷販売単価を1,250円/200kg(船びき網漁業者)、2,500円/200kg(船びき網漁業者以外)としており、さらなる単価の引き上げも予想されていた。 施設整備により、維持管理費が縮減されたことや民間業者からの氷調達がなくなったことにより、氷販売単価を目標値まで引き下げることができ、漁業者の経費削減や氷の安定供給に寄与することができた。			
	(3) 所見	令和6年度は船びき網漁業の記録的な不漁により、漁業所得が減少した。一方、漁業者への氷販売単価は成果目標どおり引き下げることができた。さらに、民間業者から氷調達する必要がなくなり安定した氷供給体制が整ったことから、消費者は高品質で安心・安全な水産物を購入することができ、産地競争力を強化することができたと考えられる。			